

9月における大豆の病害虫の発生状況は以下のとおりです。
巡回調査(20地点)は、9月7～10日に実施しました。

○ わい化病, ウイルス病(わい化病を除く), 立枯性病害

・今回の巡回調査では、発生は確認されませんでした。

○ ジャガイモヒゲナガアブラムシ・その他アブラムシ類

・今回の巡回調査では、ジャガイモヒゲナガアブラムシの発生地点率は60.0%で平成(35.9%)よりやや高く、25株当たり発生虫数は22.4頭で平成(13.9頭)並の状況でした(図1)。その他アブラムシ類はダイズアブラムシが確認されました。

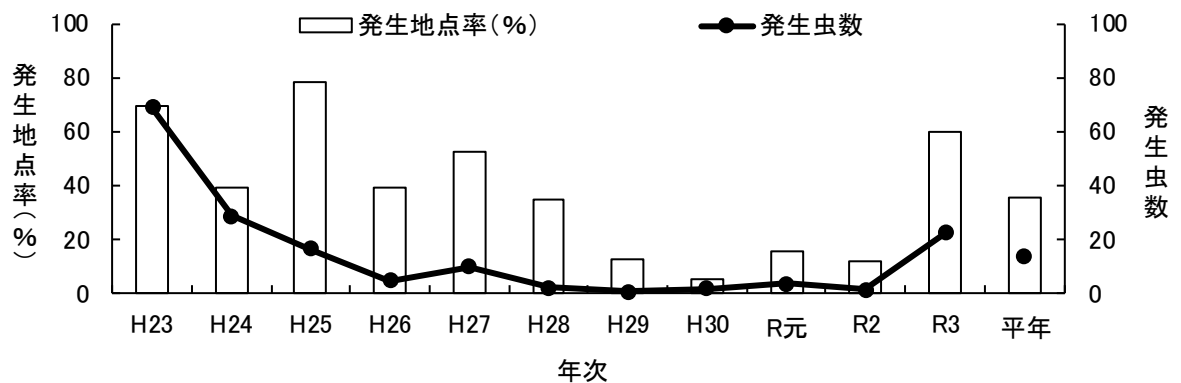


図1 ジャガイモヒゲナガアブラムシの発生地点率及び発生虫数の年次推移(9月中旬)

調査株数: 25株(1株2小葉調査) 平年: 過去10か年平均

○ 吸蜜性カメムシ類

・今回の巡回調査では1地点でホソヘリカメムシが1頭確認されました。発生地点率は5.0%、100株当たりの発生虫数は0.05頭でいずれも平成(発生地点率3.6%、発生虫数0.09頭)並の状況でした。

○ フタスジヒメハムシ

・今回の調査では、払い落とし調査による発生地点率は25.0%、25株当たり発生虫数は2.6頭で、いずれも過去9か年の平均値(発生地点率41.4%、虫数8.4頭)よりやや低い状況でした。

○ チョウ目食葉性害虫(幼虫)

・今回の調査では、10.0%のほ場で発生が確認され、主な加害種はウワバ類でした。なお、オオタバコガの定点調査ほ(古川農業試験場)に設置しているフェロモントラップの誘殺数は、9月以降平成より多い傾向で推移しています(図2)。

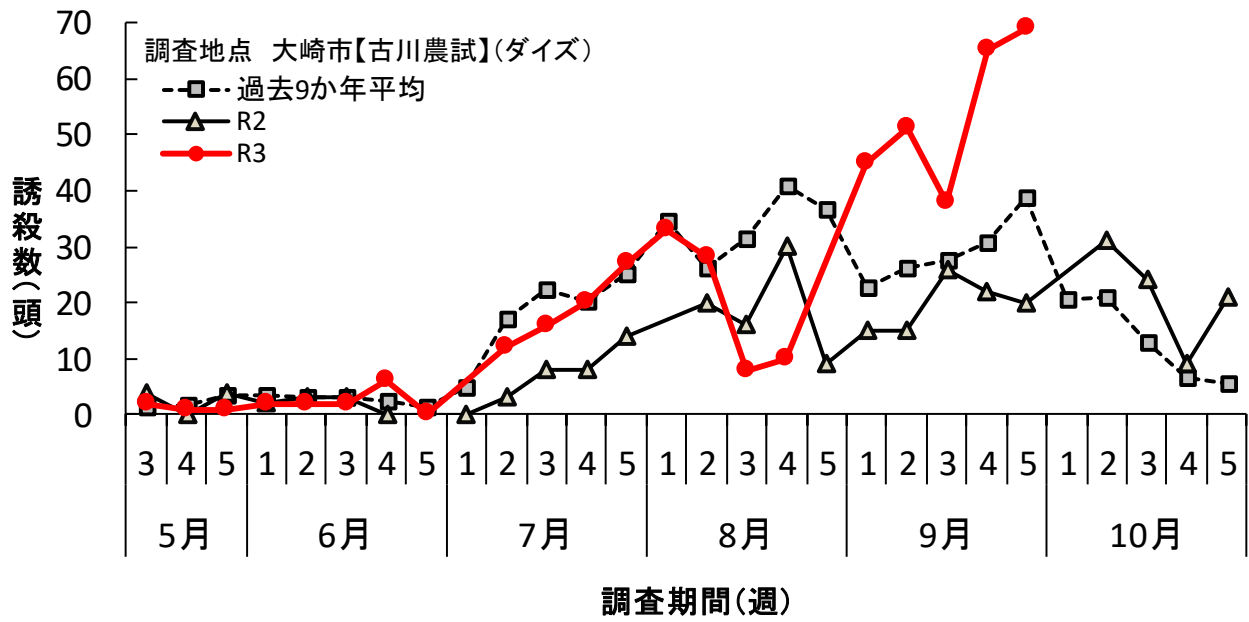


図2 オオタバコガ雄成虫の発生消長